

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

2. 平成27年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目	
公共施設マネジメント		庁舎再配置事業	
事業着手前			
課題・現状	平成16年度に6町が合併し京丹後市が発足し、合併時から現在まで旧町単位で支所を配置し、本庁機能も3つの庁舎に分散して配置している。これは合併協議の中で、本庁と支所のあり方について、「財政状況が厳しい中、住民サービスの維持向上を優先し、新たな財政負担となる新市役所の新設や既存建物の大規模な増改築は、当面の間行わないこととする。」との取り決めによるものであるが、庁舎利用者にとっては非常に不便であり、職員についても庁舎間移動のロスなどが発生している。		
事業概要	<p>財政的に有利な合併特例債の発行期限が平成26年度から平成31年度まで延長となったことにより、合併後10年を経過し、様々な問題点が判明した中、支所機能は維持しつつ本庁機能を平成31年度までに集約し、住民サービスの向上を図るもの。</p> <p>【全体スケジュール】 平成26年度～平成27年度：調査、基本設計 平成27年度～平成28年度：実施設計 平成28年度～平成29年度：工事 平成30年度：供用開始</p> <p>平成27年度 弥栄庁舎：老朽化している弥栄庁舎を取り壊し、弥栄市民局機能を弥栄保健福祉センター内へ移転 峰山庁舎：峰山庁舎への本庁機能集約を検討</p>		
期待される事業効果等	本庁機能を1つの庁舎に集約することにより、庁舎間を移動することなく各種手続きを1か所で行うことができ、住民サービスの向上が期待できる。また、職員の庁舎間移動にかかっていた経費・時間を他にまわすことができ、財政・時間の両面から効率化を図ることができる。		
事業実績			
取組状況	【峰山庁舎】本庁機能集約検討 【弥栄庁舎】老朽化している弥栄庁舎を取り壊し、弥栄市民局機能を弥栄保健福祉センター内へ移転		
主な実績数値 (出来高数値等)	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁機能集約検討経費 122千円 ・弥栄庁舎移転経費 6,667千円 		
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	本庁機能を集約することにより経費が抑制されるため。

事業効果

事業効果の考え方

■ 庁舎再配置による事業効果

	人件費	物件費	合計	備考
庁舎間移動経費	4,787	208	4,995	
庁舎間移動経費 計	4,787	208	4,995	
庁舎機能集約後の移動経費	0	0	0	新庁舎供用開始はH30から
効果額	4,787	208	4,995	

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
行革前(a)	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995
行革後(b)	4,995	4,995	4,995	4,995	0	0	0	0	0
効果(a)-(b)	0	0	0	0	4,995	4,995	4,995	4,995	4,995